

## ■事業部：受託事業

事業件数：20事業

主な事業：

- ① SDGs・探求学習をテーマとする教育旅行コーディネート
- ② 学校・企業へ向けたチームビルディングプログラム
- ③ 企業・団体の環境教育活動支援（コスモ石油、ハウス食品、千葉テレビ、サラヤ等）



千葉の海岸線にも大量に漂着する  
レジンベレット

目標数値：SDGsパッケージプログラム受注15事業

SNSを使った定期的な情報発信 週1回

重点項目：

- ① ネットワークを活かした地域課題解決への取組み
- ② ネットワークを活かした企業の活動の誘致
- ③ ネットワークを活かした学校向けプログラムの提案
- ④ 指定管理施設及び古民家ろくすけとの連携による、教育旅行・企業研修・CSR活動におけるプログラム展開の充実
- ⑤ 新たな需要に対応するための人材育成及び外部連携の推進
- ⑥ SNSを活用したプログラムや地域連携の情報発信、提案資料・ホームページの充実



地域課題他探求型の教育旅行  
館山ジビエセンター

## ■ヤックス自然学校（株式会社千葉薬品 受託事業）

事業件数：53事業（稼働日数134日）

主な事業：

- ①年間通じて、子ども（幼児、小学生、中高生）対象の自然体験プログラム
- ②ファミリー対象の自然体験プログラム（キャンプ教室、お米作り体験）
- ③キャンプリーダートレーニング（NEALリーダー指導者養成含む）

目標数値：年間参加者数1,500人

参加者数延べ3,500人 リピーター率50%

ヤックス自然学校会員数400名



第47回サマーキャンプ  
（長南町 笠森キャンプ場）

重点項目：

- ①企業の社会的責任の一環として、社会の動きを素早くキャッチし、安心安全で楽しい自

然体験活動を継続的に実施

- ②感染症対策を講じ、感染状況に合わせた事業の集客及び実施
- ③ホームページやSNS（Facebook、Instagram、LINE）を活用した集客と活動報告の充実
- ④NEALリーダー養成事業の継続（資格取得）と将来、教職員を目指すキャンプリダー（大学生）の人材育成
- ⑤持続可能な開発目標を支援し、体験プログラムを通してSDGsの17の目標達成に貢献する

これまでも、これからも、未来へつなげる体験を。

ヤックス自然学校は、持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



ヤックス自然学校が、自然体験活動を通じて貢献する主要なSDGs目標

### ■事業部：千葉県立君津亀山青少年自然の家（指定管理）

事業件数：主催事業62事業

主な事業：

- ①「森をフィールドとした年齢層に合わせた事業」  
きみかめ森のようちえん（未就学児と保護者）、  
森っこレンジャー（小学生）など
- ②「親子の絆を深める事業」  
ファミリー野遊び教室：森や川、海など野遊びを  
テーマに複数回実施
- ③「地域との連携事業」  
はぐくみの杜君津共催事業（児童養護施設の子ども達対象）
- ④「SDGsを意識した事業」  
6歳になったら机を作ろう：木こり体験と学習机を自分で  
作る体験

目標数値：利用者数26,842人

宿泊者数12,485人 団体数330団体

重点項目：

- ①満足度向上による利用者の拡大  
（利用者満足度目標98.5%）
- ②自然と触れ合える「魅力ある総合的な施設」運営
- ③持続可能な開発目標（SDGs）を意識した運営
- ④集団・人間関係トレーニングの実践



ファミリー野遊び教室



「木育×SDGs」  
「6歳になったら机を作ろう」

### ■事業部：南房総市大房岬自然の家（指定管理）

事業件数：主催事業39事業

主な事業：

- ①「コーステアリング」  
岩礁帯を冒険し、生物や地層を観察する
- ②「ウミホテル観察会」  
砂地の海底に潜む発光生物の観察会
- ③「岬の楽校」



海の豊かさを知るウミホテル観察

地域の児童を対象とした年間自然体験プログラム

目標数値：利用者数 23,000人

宿泊者数 15,000人 団体数 200団体

重点項目：

- ① 施設の改修工事に関する南房総市との連携
- ② 地域内の事業者連携とSDGs教育旅行の受け入れ
- ③ 南房総市内の児童生徒へ向けた「南房総学」自然体験プログラムの提供
- ④ **千葉自然学校主催事業の実施**



SDGsビーチコーミングプログラムの指導

## ■事業部：千葉県立大房岬自然公園（指定管理）

事業本数：主催事業 49事業

主な事業：

- ① 「ファミリーキャンプ教室」  
初心者家族向けのキャンプ講座。内容をリニューアルし、一度参加された方でも楽しめる内容に。
- ② 「岬のナイトツアー」  
夜の森をガイドの解説とともに歩く。季節ごとにテーマが異なる。
- ③ 「岬レンジャー」  
子ども限定にしていた対象を令和5年度から大人にも拡大。岬の自然について「調べる」「守る」「伝える」ことをイベントとして行う。

目標数値：キャンプ場利用張数 3,520張

主催事業参加者数 850人

重点項目：

- ① 大房岬の自然を活用した質の高いプログラム開発
- ② キャンプ場利用の活性化（主に冬季利用の促進）
- ③ 伐採と植樹を進める大房岬の次世代の森づくり
- ④ 大房岬自然の家と協力したSDGs教育旅行の受入



ファミリーキャンプ教室



岬のナイトツアー

## ■地域協働部：ちば・体験活動ネットワーク事業

主な事業：

- ① 会員校の Facebook（活動報告、活動案内）記事を当校の Facebook で随時シェア（共有）して、広く社会に情報発信していく。
- ② 会員校と各エリア担当の情報交換、情報共有、協働事業が出来やすい環境を整える。  
北総エリア……9月～10月に協働事業「北総マルシェ」の開催。それに向けての定例会。  
SNS広報講習会（写真共有サイトの新規アカウント作成、トークアプリでの情報共有）  
⇒ 千葉自然学校の独りよがりにならない“会員校みんなが知りたい、行いたい研修会や講習会”を定例会で相談、実施に向けて検討する。

上総エリア……ヒアリングシートを送り、情報収集を行う。

その際の情報発信ツールの紹介や各会員校・当団体、双方向に対して人材派遣・講師依頼などの相談窓口であることも周知する。得られた情報を基に協議しながら必要に応じた相互協力を行う。

南房総エリア……エリア担当が代わった事を受け、新エリア担当が会員校と密接な関係性を作り、会員校との連携を図り、教育旅行の体験活動のコーディネートを円滑に行う。

- ③ 県内の体験活動団体の相談窓口として役割を担い、必要に応じた対応、助言を行なう。

## ■地域協働部：古民家ろくすけ事業

主な事業：

- ① ヤックス自然学校主催ホームステイ・一般農泊、日帰り利用などの受け入れ
- ② フィルムコミッションや独自の広報による撮影利用
- ③ 県内理科系高校教員、近隣高校生生物部による生物生息環境の保全・維持管理
- ④ 地域産物の加工販売、郷土料理・加工体験の実施、カフェ開催
- ⑤ 平群ツーリズム協議会、「ろくすけの会」、シニア自然大学、地域団体等と連携した地域活動

目標数値：販売加工品（ジャム、クッキー、みそ、ろくすけもち）

体験イベント：12回

重点項目：

- ① 古民家ろくすけの維持管理
- ② 撮影利用のホームページ、資料等の作成
- ③ 企画・運営・管理ができる人材の育成
- ④ 施設、菜園、周辺環境・生きもの生息環境の保全・整備
- ⑤ 地域・都市連携による地域の活性化



地域産物の加工品  
（くわの実ジャムやクッキー等）

## ■地域協働部：体験農園 IN 岩名

主な事業：

- ① 事務局（広報、受付、運営サポート等）
- ② 運営支援
- ③ 作付講習会、勉強会（メンテナンス、病虫害対策）

目標数値：30区画すべて利用

重点項目：

- ① 都市部の遊休農地を活用した「農」のある暮らしの提案
- ② 運営方法の効率化



隣りによる実演講習の様子

## ■千葉シニア自然大学

事業件数：主催 3コース

主な事業：第11期

- ① Aコース：ちばの里山里海の自然誌講座（13講座）
- ② Bコース：天文・地球（気象・地震・地質・生きもの）講座（13講座）
- ② Cコース：自然と俳句講座（10回）

目標数値：受講者数A・Bコース各30名、Cコース若干名  
重点項目：

- ① 受講者のより高い満足度を目指し、事務局の十分な準備と受講生同志の交流に配慮した運営を図る。
- ② 新型コロナウイルス感染症予防対策に万全を期すとともに状況に応じ研修旅行等特別講座を実施する。
- ③ 卒業生の交流を活性化し、「古民家ろくすけ」での農業や「アートギャラリー」（蔵）を利用した活動を進めるとともに、それぞれの地域でのボランティア活動等に関わることができるよう支援する。



「山歩きの魅力を知る」  
富山（とみさん）山頂にて



「収穫祭（サツマイモ堀り）」  
佐倉圃場にて